

	琉球大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	医学部保健学科（第1年次：60名） 保健学研究科（M：10名、D：3名）
沿革・設置目的	<p>保健学に関する教育・研究を行うことを目的とし、昭和43年、琉球大学保健学部保健学科を経て、昭和56年、琉球大学医学部保健学科が設置された。</p> <p>昭和25年（1950年） 琉球大学設置（琉球列島米国民政府による） 昭和41年（1966年） 琉球政府立大学へ移管 <u>昭和43年（1968年） 琉球大学保健学部保健学科設置</u> 昭和47年（1972年）（国立）琉球大学設置（琉球政府立大学から移管） 昭和56年（1981年） 琉球大学医学部保健学科設置 昭和61年（1986年） 大学院保健学研究科保健学専攻（修士課程）設置 （平成19年（2007年）に博士後期課程を設置） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 琉球大学の理念等に基づき、看護学・検査学の基礎的な知識にとどまらず、医療専門職者の少ない環境において、多様な医療ニーズ、社会ニーズへの対応力、国際貢献等を目指した応用力と高い専門性と実践能力を持った看護系人材を育成するとともに、島嶼沖縄県の地域医療を担い指導的に活躍できる検査技師を育成する。</li> <li>○ 島嶼地域における高齢者の健康課題対策、沖縄の健康長寿の復興および次世代の健康課題対策、感染症対策に関する研究や、沖縄県下におけるがん看護分野をはじめとする専門的な看護師の養成等を積極的に推進し、地域・社会課題の解決に貢献する。</li> <li>○ 島嶼により構成され、開発途上国と共通の課題を持つ地域特性を活かし、開発途上国における健康開発に貢献する研究等を推進するとともに、外国人とともに医療・保健に対応できる人材、国際保健分野で活躍できる人材育成を行う。</li> </ul>